



# おお た てん じん やま こ ぶん 太田天神山古墳

所在地

太田市内ヶ島町1606-1 ほか

MAP P.67 B-4

関連施設

群馬県立歴史博物館

MAP P.65 D-2



【空から見た古墳】

動画



## 【太田天神山古墳群配置図】

女体山古墳だっ  
て野球場より大きいよ!

太田市内ヶ島町にある、5世紀前半(古墳時代中期)に造られた前方後円墳。墳丘の全長は210mで、全国で第28位だ。ただし、当時の政権の中心だった奈良県と大阪府を除くと第3位、東日本では堂々第1位だ。(P.4参照)

墳丘は、前方部は幅126m、高さ12m、後円部は直径120m、高さ16.8m。さらに二重の周堀(しゅうぼり)を含めると、長さ355m、幅285mという広大な面積になる。平らな土地に土を積み上げてこの巨大な古墳を造っており、大がかりな土木工事を行った当時の支配者の権力の大きさがうかがえる。3段に築かれた墳丘には渡良瀬川水系の石が葺かれていた。また、後円部に長持形石棺(P.8参照)があったようすはわかっているが、未調査のため詳細は不明である。

## 考えてみよう!

▶ 関東地方の各都県で一番大きい古墳を比べてみよう

! ヒント 東日本では飛び抜けたNo.1であることを確認しよう。

▶ もし、あなたがお金や権力をもったら、どんな形でそれを誇示(こほし)するか考えてみよう

! ヒント みんなそれぞれが自由に考えて、意見を出し合おう。



Point 1

## 大古墳に大興奮!

「これはもう山だ!」と言いたくなるほどの威容(いよう)を誇る。とにかく大きいので、一度はしてみる価値がある。それにしても、奈良や大阪にはこれよりはるかに大きい古墳があるなんて…さすが!



Point 2

## 実は全国第2位!?

古墳時代全体を通した大きさでは全国で28位だが、時期を細分して同時期の古墳と比べると、全国第2位になるといふ。「長持形石棺」の使用といい、当時の群馬の地位の高さを示している。



Point 3

## となりの古墳

天神山古墳の隣に、同じ時期に、同じ向きで造られている女体山(にょたいさん)古墳。「帆立貝式(ほたてがいしき)」という珍しい形だが、全長106mと非常に大きい。この2つは夫婦の墓なのだろうか? それはまだナゾだ。

